

Mリンカリンの早期配合はメリットがたくさん！

【早期配合のメリット】

- ：たくさん熟成させることで効果が高まる！
- ：忙しい春の前に作業を済ませることで余裕ができる！
- ：自家配合で経費削減！
- ：濃度障害や肥料やけが少なくなり、安心して使用できる！

【目的別の配合方法】

配合タイプ	標準	カリ減少型	カリ増強型	苦土増強型	
Mリンカリン	2kg	2kg	2kg	2kg	
過リン酸石灰	100kg	100kg	80kg	100kg	
塩化カリ	10kg	5kg	30kg	10kg	
硫酸マグネシウム	—	20kg	20kg	30kg	
米ヌカ	5kg	5kg	5kg	5kg	
合計重量	117kg	132kg	137kg	147kg	
MリンPK 20kg中の 成分量	リン酸	3.0kg	2.7kg	2.0kg	2.4kg
	カリ	1.0kg	0.5kg	2.6kg	0.8kg
	苦土	—	0.8kg	0.7kg	1.0kg
備考	一般的な配合	カリ過剰の場合 (施設栽培や畜糞堆肥連用圃場など)	苦土やカリを必要とする場合 (根菜類、葉菜類など)	苦土を特に必要とする場合 (果菜類、果樹など)	



リン酸とアミノ酸で冬の栽培を乗り切る！

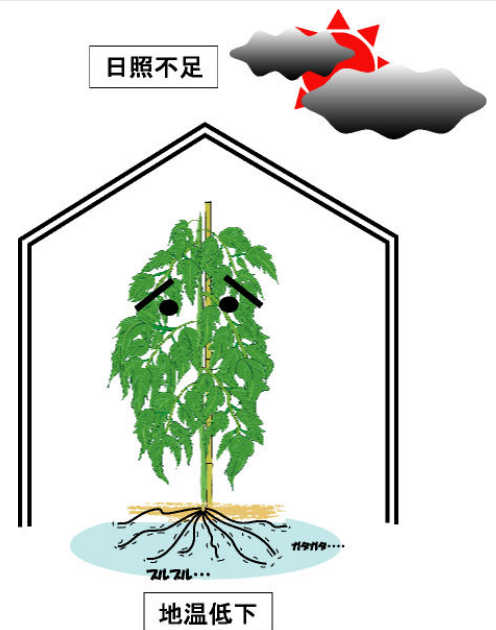
【冬の栽培を邪魔する2大要素】

1：地温の低下

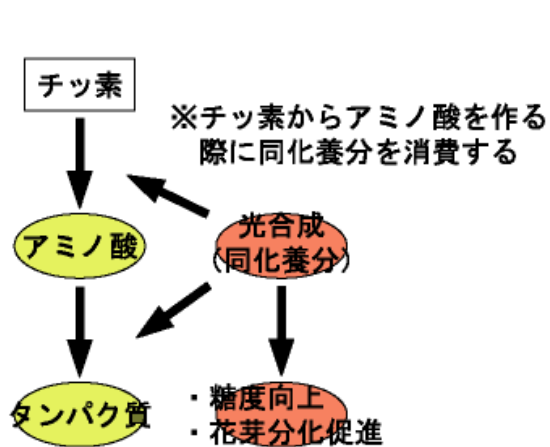
前回（10月号）でもお話ししましたが、冬期の栽培では例えば加温していたとしても地温は上がりにくく、根の活力が低下します。その結果、十分な養分を吸収できず、減収や樹勢の低下による病気の発生が心配されます。

2：日照量の不足

冬期は曇天が多く、作物の生育に必要な日照量が不足しがちです。日照量の不足は品質、耐病性の低下、花芽分化、結実不良などの原因となります。

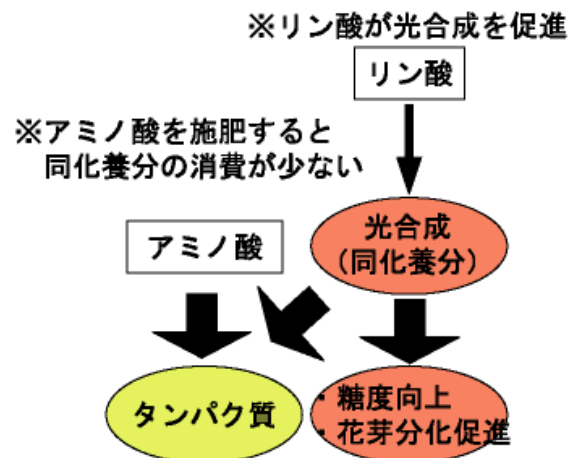


【リン酸とアミノ酸で2つの障害を解決】



慣行栽培

- ・樹勢の低下
- ・品質の低下



Mリン農法

- ・樹勢維持 (多収穫)
- ・高糖度、花芽充実

【施用例 (10a 当たり)】

【1】光合成細菌で根を活性化！

サンレッド・・・ 200～300ml (冬季中20～30日に1回施用)

本製品300mlの中に約3兆個もの光合成細菌を含んでいます。
光合成細菌は、土壌中の発根環境を整え、発根促進・根の活力活性などに効果があります。



【2】低地温時は吸収・消化がスムーズなアミノ酸態チッ素で養分補給

- ① **アミビタゴールド**・・・ 5～10kg + 利用中のチッ素入り肥料 (5～7日おきにカン水施肥)
- ② **アミビタゴールド**・・・ 20kg のカン注施肥 (植付株数×1/2×200～300cc の水で薄め、2株に1箇所の割合でカン注施肥)

消化吸収の良いアミノ酸液肥です。低地温で根が弱った時でも養分吸収がスムーズに行われ、作物の活力を取り戻します。また、アミノ酸に含まれる旨味成分によって作物の味を濃厚にする効果があります。



【3】リン酸補給で光合成を活性化

MリンPK液肥の素・・・ 1～2kg を必要量の水に溶かしてカン水

水に溶けやすく、残留物が出ないためカン水チューブなどでの使用に適しています。

チッ素	水溶性リン酸	水溶性カリ	水溶性苦土
4.0	30.0	6.0	5.0

